

## 合格例

### <試験官に関して>

外国人試験官：

40代(?)の品の良いひげを生やし眼鏡をかけた白人男性。発音から判断してアメリカ人かカナダ人。声の大きさは小さめで、質問に入る前の会話では少し早口で話された為、はっきりと聞き取れなかった。質問の際もわりと早口な感じだったが、内容は把握出来た。3つの質問は全てこの試験官から出された。印象としては特に冷淡という感じではなかったが、それほど笑顔も見られなかった。

通訳ガイド：

おそらく50代の男性。少し吉本新喜劇の池乃めだかに似ているなあと考えた。最初にこの男性から名前と住所を聞かれた。その後は私の受け答えを少々笑みを浮かべて聞いていたが、最後に私が言ったある単語に対して、少し突っ込まれた感じで質問されたので焦った。

人物考査担当試験官：

おそらく30代の男性。一度アイコンタクトを取ろうとして目をやったが、下を向いていた為、どんな顔なのかさえ、全く確認できず残念!!退出する時にでも見ておくべきだった。

### <面接試験の実際>

試験が行われた部屋は思ったより狭く、試験官と自分の距離も意外と近かった為、小さめの声でも聞き取りには支障はなかった。座ったイスの前には長机が置かれていた。

- I: Hello! (と言いながら入室。“Good morning”で入ろうと思っていたが正午を過ぎていたので。)
- NS,TG: Hello! (たぶんこの時“Please have a seat.”か“Please sit down”と言っていたかもしれないが、緊張のせいかわよく覚えていない。)
- I: (荷物を置くイスが少し離れた所にあったので、そのイスの方に向かいながら) May I put...? (と最後は口ごもりながらTGの方を見ると)
- TG: Yes. (“Please have a seat”や“Please sit down”と言われるだろうと思いそのまま立っていたら、特に何も言われずTGが真ん中のイスを指して“Please”と言ったので、やはり入室した際に言われていたのかな?と思った。)  
—私が座り終わらないうちに、
- NS: Did you...? (最後に“outside”といていたようにも思うのだが、あまりにも唐突で本当に何を言われたのか聞き取れず、聞き返せばいいのに思わず...)
- I: Yes!
- NS: Sorry, We... (おそらくここでは「メモを取ったりするのに時間がかかってしまったんだ。」といった内容のことを話していたので、『さっきは「外で長いこと待ちましたか?」と聞かれたんだ』と悟り、ここでも思わず...)
- I: That's OK! (と上から目線で答えてしまい、TGは苦笑いしていた...)
- TG: Please tell me your name and address? (確かこう聞かれた。)
- I: My name is ~ . I live in Kawasaki city.
- NS: How are you today?
- I: Oh, I'm fine, but I'm very nervous.
- NS: (少し早口で) We're just talking about Japanese culture.  
(と言った内容のことを話していたと思うが、最初のミスと緊張で英語と何と言っ

ていたかほとんど覚えていない・・・。)

So, just relax. (と言っていたような・・・?)

I: OK. I'll try. (私がこういったのは間違いないので、おそらく“Relax”と言われていたと思う。)

NS: First, Could you explain about “Zen garden”?

I: (『やばっ！禅宗のことは2次対策テキストで読んでいたけど、“Zen garden”って枯山水とかだっけ？あーとりあえず何か言おう！』と考えながら・・・)

“Zen” is one of the denominations of Buddhism. Zen sect has the concept of meditation. Zen monks train themselves through meditation. So, Zen garden has also concept.

Ah...Zen garden has also this concept. (同じ事を言ってしまった！)

(『庭自体の説明をしなければ・・・！』と思いながら言葉が出てこない！でも『話を続けなければ！』と思い) It's different from ordinary Japanese garden. It's more sophisticated and simple.

ーこの苦し紛れの受け答えの最中、NSもTGも訝しげに聞いていたが、私が最後にやっと庭について触れたので、まあその答えで大目に見ましようと言った感じで

NS: OK. So, it's sophisticated and simple.

Next, Many Japanese people have obsession about characters.

ーこの時点で私は“obsession”の意味を思い出せず焦り始め、且つ“character”を「性格」だと思い「日本人の性格？」と早とちりしかけたが

NS: Why do you think so many Japanese people are obsessed with Disney characters or Hello Kitty? (ここで be obsessed with で質問された為 “obsession”の意味に気付き、しかも分かり易くディズニーやキティちゃんの名前を出してくれたことで “character”の意味も把握する)

I: (質問の内容は明確だが、どう答えればいいのかのだろう・・・?!とまたまた焦り出すが、沈黙してはいけなっ！と思い)

I know it's a kind of strange to foreigner's eyes, but I think many Japanese people, especially there are many characters. Many female...many women, especially young women (あ～また同じこと言っているよ、と自分で思いながら) have some characters. So, if a person doesn't have characters goods, she will fill a kind of isolation. “Everyone has it, so I'll have one.” something like that...

ーTGもNSも納得いかない様子だが

NS: So, do you have favorite characters? What's your favorite character?

I: I like “Pooh” I mean, “Winnie the Pooh”!

NS: Do you have any goods? Key chain or strap or...?

I: Yes! That's right! (私はプーさんのストラップを持っていたので思わずこう答えてしまった。)

NS: O.K. The last question, back to the... (ここでプリントをめくりながらつぶやくように話していたのではっきりはわからなかったが「初めの話題に関係ある質問です。」といったようなことを言っていた。)

What is Butsudan?

I: (仏壇については自分で少し用意していたので『やった！』と思いながら)

Butsudan is a kind of family altar. (“Buddhist altar”と言うべきだった！)

We pray to our ancestors for our good health or prosperity in our business. (本当は供養するものだと思うが自分がいつもそうしているので。) We burn incense and candles in front of Butsudan and we also offer rice or some fruits

NS: I saw that they offered みかん. (“みかん”と日本語で言っていたことが印象深くて、正確な英語は覚えていないが、写真か何かでみかんをお供えしているのを見たことがある、といていた。)

- TG: Do you have Butsudan in your house?  
 I: No. I live by myself, so...  
 TG: (聞こえなかったのか) What?  
 I: I live alone, so I don't have it in my house, buy my grandmother's house...(文章が成立していないが会話を続ける) When I go back to my hometown, I go to my grandmother's house and put my hands together(ジェスチャーで手を合わせながら) and say sutra, special phrase.  
 It's very sad and to see less and less house have Butsudan.  
 TG: What is "sutra"? (唐突に)  
 I: (戸惑いながら) "Sutra" is a special phrase of Buddhism  
 TG: So, you... ("sutra" が何かを聞かれて動揺したため、英語で何と言っていたのかははっきりとは覚えていないが「帰郷したらまずおばあちゃんの家に行って先祖にお参りするんだね」といったようなことを言われたので)  
 I: Yes.  
 TG: O.K. Thank you. That's all.  
 I: Oh, thank you. Thank you for giving me this opportunity.  
 (あまりにあっけなく終わりを告げられた為、再び動揺してしまい "opportunity" がうまく発音できず焦る) I'm very s...( "I'm very happy..." とおもうとしたのに何故か"sad"と言いかけて TG と NS が驚いた表情を見せる)  
 I'm very happy to be here today.) 本当はこの言葉は最初に言うべきだと思うのだが、最後に言ってしまった...。)  
 -私が退出しようとしている時に TG と NS が顔を見合わせてうなずいていたのでとても不安に思った。  
 I: (ドアの前で礼をしてから) Thank you. (ドアが重かったので強く押して部屋をでる。)

#### <反省点、今後の課題、後輩へのアドバイス>

実際、自分が話した英語は、レポートするほどスムーズではなく、もっとおかしなことを話していたように思うのですが、思い出す限り書いてみました。最初と2番目の質問は unexpected でうまく答えられず、他の受験者の方は富士の2次対策で扱った内容を聞かれた方がほとんどで、私は運が悪かったなあと思ってしまいました。(苦笑)最後の質問は自分が少し用意していたものであったにも関わらず、緊張のあまり何度ももったりして反省すべきところばかりです。結局のところ、何を聞かれていてもすぐに受け答え出来るように、幅広い知識を身に付けることが一番大事なことだと思います。私の場合、英語のレベルを上げて、知識を深めるだけでなく緊張してわけの分からないことを口走ってしまわないようにする練習も必要だと思いました。(笑)アイコンタクト、ジェスチャー、笑顔はどの程度まで出来ていたか分かりませんが、沈黙だけは絶対にしないように心がけたので、その点だけは今回よかったところではないかな?と思います。もし受かっているとしたら、その点が合格の大きな決め手になっていると思います。